

2020年
1月

県内景況・確報

◎概況 県内景況は拡大の動きに弱さが見られる

●2020年1月 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや良い

個人消費



ふつう

建設関連



良い

観光関連



ふつう

企業倒産



やや良い

雇用状況



良い

1月の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベースは前年同月を上回り、既存店ベースは前年同月を下回りました。百貨店売上高は前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、前年同月を上回りました。新車販売台数は前年同月を下回りました。

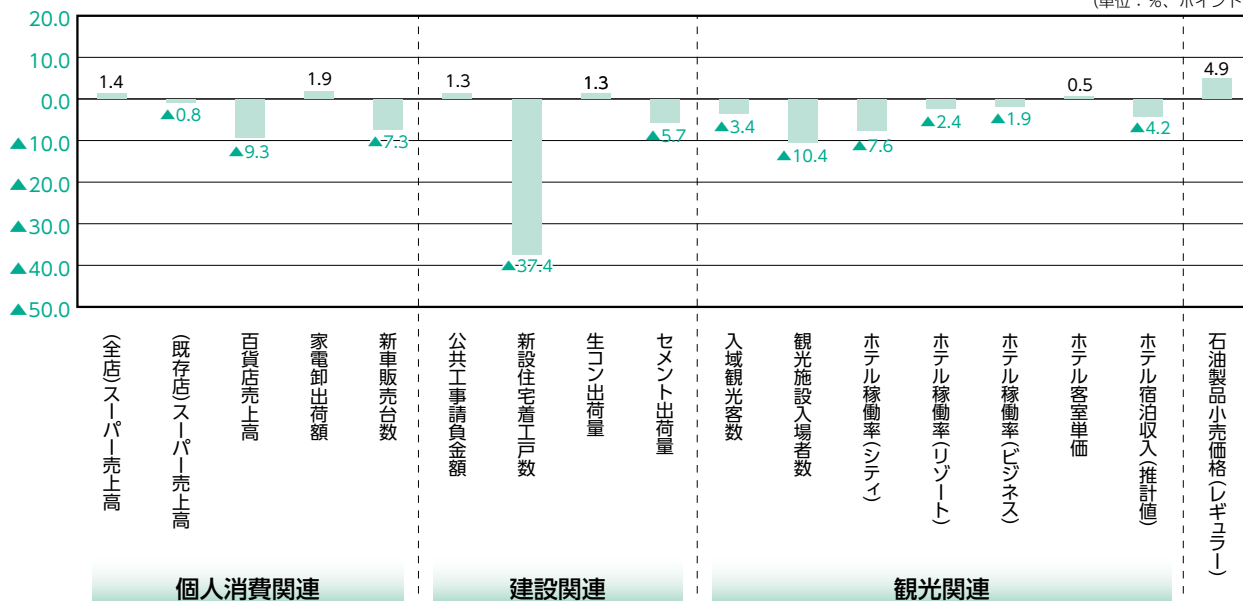
建設関連では、公共工事請負金額は4ヵ月連続で前年同月を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を下回り、建設資材である生コンは前年同月を上回り、セメントは下回りました。

観光関連では、入域観光客数は5ヵ月ぶりに前年同月を下回り、観光施設入場者数も前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入（推計値）は下回りました。

このような状況に鑑みて、**建設関連が概ね堅調な中、個人消費、観光関連では拡大の動きに弱さが見られることなどから「県内景況は拡大の動きに弱さが見られる」と景気判断しました。**（下方修正）

主要景気指標前年同期比

(単位：％、ポイント)





個人消費



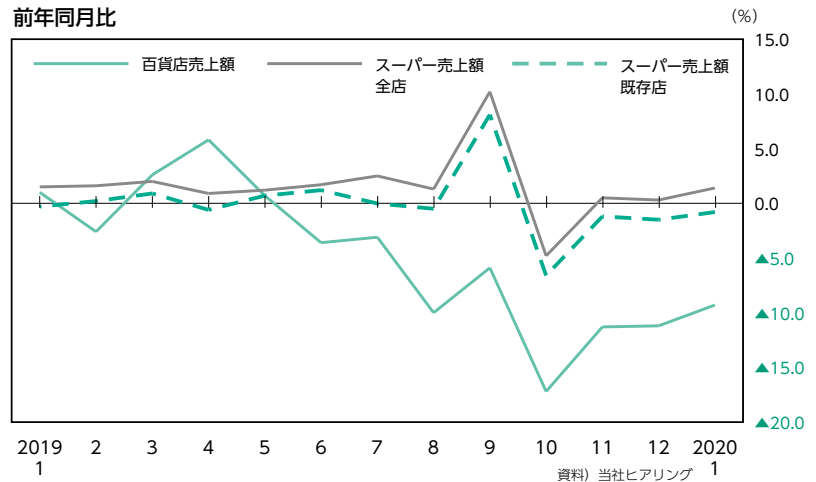
(ふつう)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベースは前年同月を上回り、既存店ベースは下回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

1月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース（前年同月比1.4%増）」は、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。「衣料品（同3.8%減）」は気温が高く推移したことや、消費税増税の影響などにより前年同月を下回りました。一方、「食料品（同1.6%増）」、「家庭用品（同2.5%増）」は、新規出店効果などにより、前年同月を上回りました。

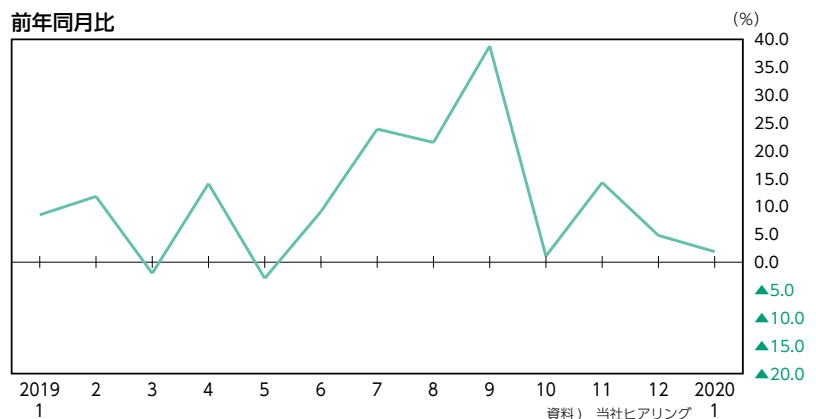
「既存店ベース（同0.8%減）」は、4ヵ月連続で前年同月を下回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同1.1%増）」は、旧正月が1月（前年は2月）となったことなどから、惣菜や精肉、鮮魚を中心に全般的に売り上げが伸び、前年同月を上回りました。一方、「衣料品（同11.0%減）」は、気温が高く推移した影響や、消費税増税の影響などにより、冬物商材を中心に売り上げが伸びず、前年同月を下回りました。「家庭用品（同4.9%減）」は、新設店舗の影響や、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減などにより、家電等の売り上げが伸びず、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、インバウンド需要の減少や、消費税増税の駆け込み需要の反動などにより、全般的に売り上げが伸びず、8ヵ月連続で前年同月を下回りました（同9.3%減）。内訳をみると、「食料品（同6.0%減）」は、昨年開催した催事企画が2月に後ずれしたことなどにより、前年同月を下回りました。ウェイトの高い「衣料品（同9.0%減）」は、販促企画を行うも、暖冬や消費税増税の駆け込み需要の反動の影響などにより、「紳士服（同6.6%減）」、「婦人服（同7.1%減）」で冬物商材等の売り上げが伸びず、前年同月を下回りました。靴、バッグ等の「身のまわり品（同10.0%減）」も、消費税増税の駆け込み需要の反動により、前年同月を下回りました。化粧品等の「雑貨（同10.7%減）」は、インバウンド需要の減少により、前年同月を下回りました。



② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は8ヵ月連続で前年同月を上回る。

家電卸出荷額は、業務用家電などの売り上げが伸び、8ヵ月連続で前年同月を上回りました（同1.9%増）。品目別では、「テレビ（同3.3%減）」「冷蔵庫（同18.5%減）」「洗濯機（同0.2%減）」「エアコン（同3.1%減）」は、消費税増税の駆け込み需要の反動などにより、前年同月を下回りました。一方で、「その他家電（同8.5%増）」は、業務用家電などの需要が増加し、前年同月を上回りました。

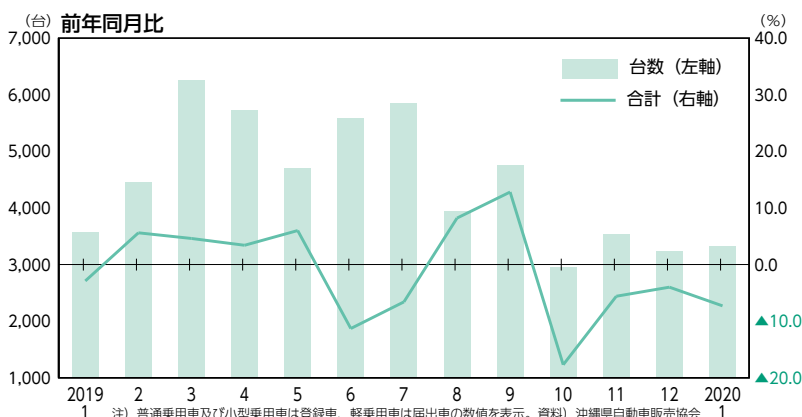


③ 新車販売台数…新車販売台数は、4ヵ月連続で前年同月を下回る。

新車販売台数は、全体で3,314台（同7.3%減）となり、4ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車（同1.1%増）」は、レンタカー需要が増加し、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。一方、「小型乗用車（同2.9%減）」、「軽乗用車（同17.9%減）」は、レンタカー需要は増加したものの、消費税増税の影響により自家用車需要が伸び

ず、小型乗用車は3ヵ月ぶりに、軽乗用車は4ヵ月連続で前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



建設関連

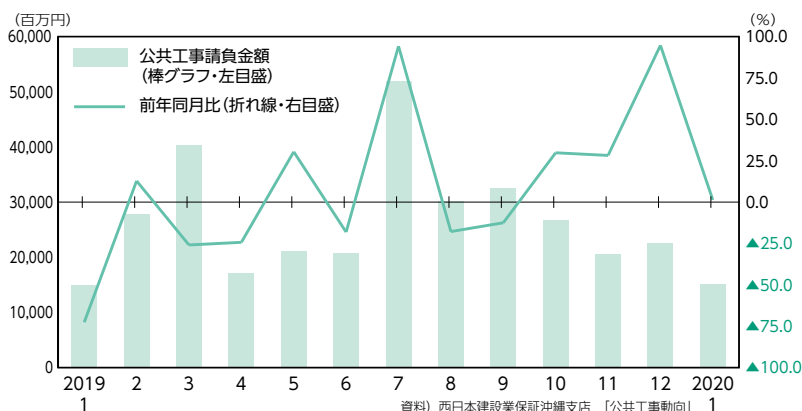


（良い）

① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

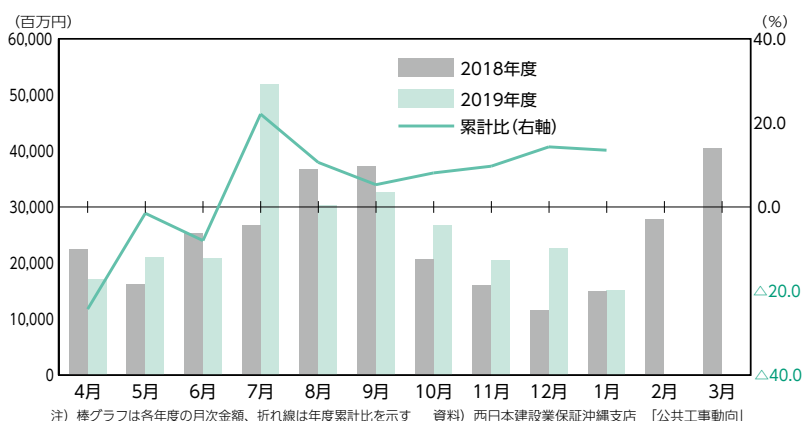
1月の公共工事請負金額は、前年同月比1.3%増の151億4,400万円となりました（4ヵ月連続増）。

発注者別でみると、「独立行政法人等（同332.4%増）」や「沖縄県（同165.7%増）」、「市町村（同23.3%増）」は前年同月を上回りました。一方で「国（同28.6%減）」や「その他の公共的団体（同73.7%減）」は下回りました。



【参考】公共工事（年度累計）…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

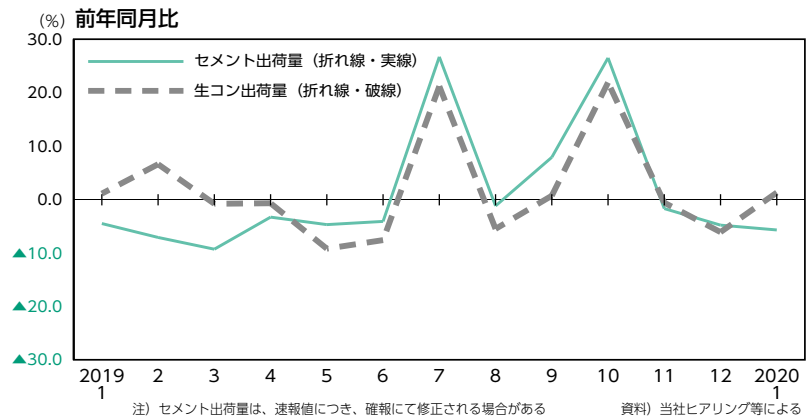
今年度累計値では、13.5%増となっています。





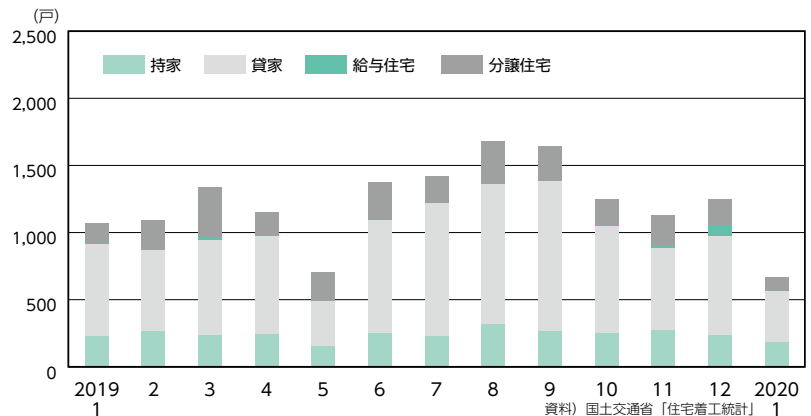
② 建設資材…生コンは前年同月を上回り、セメントは下回る。

建設資材関連では、生コンの出荷量は1.3%増と3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷は、中南部地区の空港関連や学校関連出荷などが減少し前年同月より3.3%下回り、民間工事向けは、中南部地区で宿泊施設等工事の出荷増などで前年同月より3.6%上回りました。セメント出荷量は5.7%減と3ヵ月連続で前年同月を下回りました。



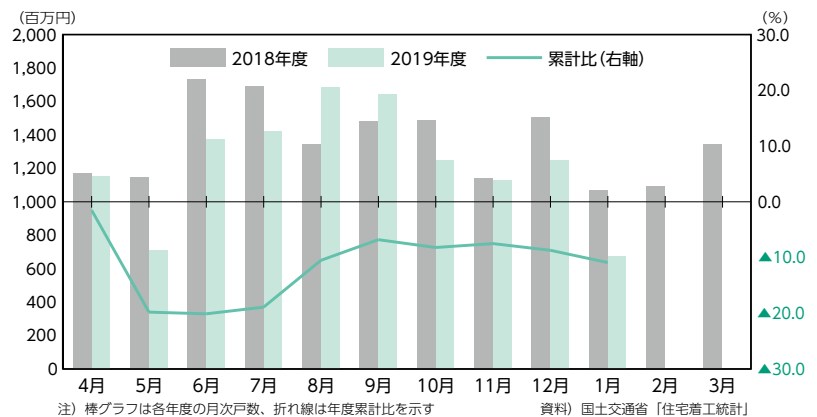
③ 住宅投資…着工戸数は前年同月を下回る。

新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比37.4%減の670戸となり、4ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同44.3%減)」のほか、「持家(同19.8%減)」や「給与住宅(同100.0%減)」、「分譲住宅(同32.0%減)」が前年同月を下回りました。



【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を下回る。

今年度累計値では、10.9%減となっています。

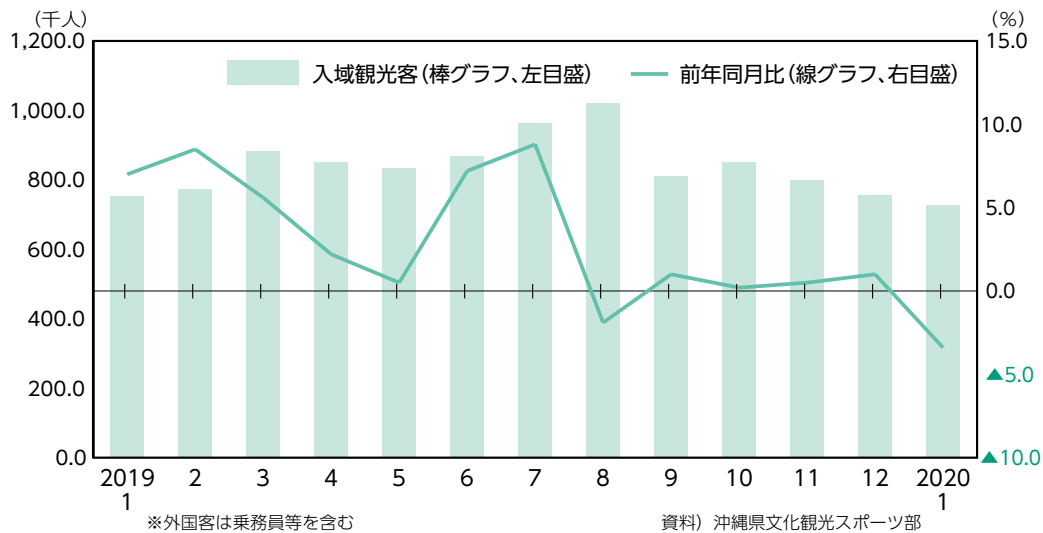


観光関連

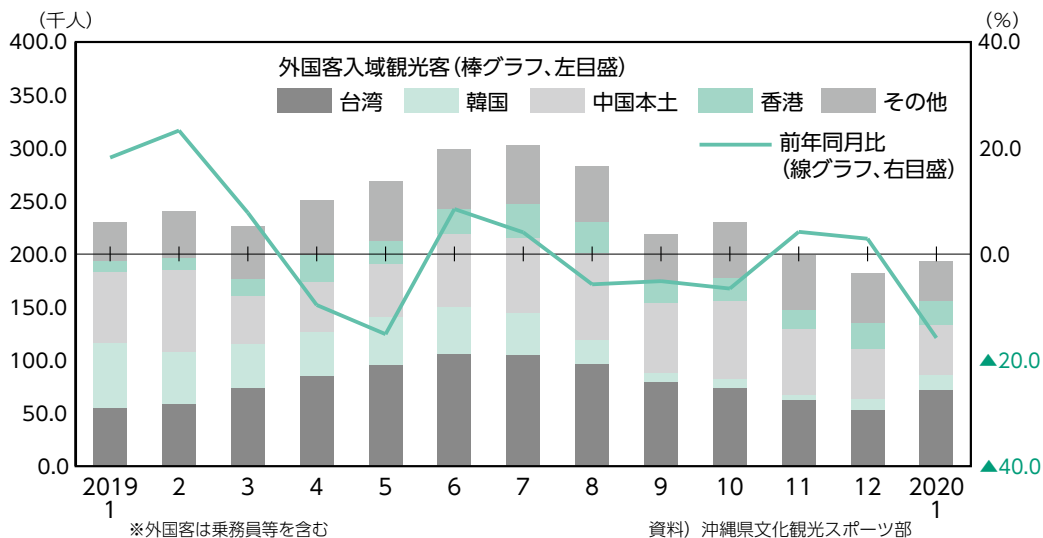


(ふつう)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…5ヵ月ぶりに前年同月を下回る。



外国客 入域観光客数…3ヵ月ぶりに前年同月を下回る。



1月の入域観光客数は、25,700人少ない727,800人（前年同月比3.4%減）となり、5ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

内訳をみると、「国内客（同2.0%増）」は534,300人と、年末年始の旅行需要の高まりがあったことや、航空会社の提供座席数が増加したこと等から、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客（同15.8%減）」は、193,500人と3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。韓国市場における訪日旅行自粛の動きや航空路線の減便に加え、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、中国市場における団体旅行の販売が禁止されたこと等から、前年同月を下回りました。

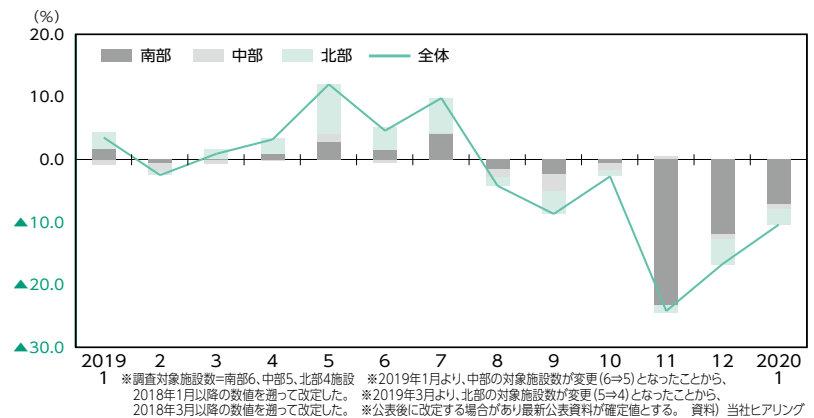
「台湾（同29.5%増）」「韓国（同76.4%減）」「中国本土（同29.1%減）」「香港（同109.3%増）」

※乗務員等を除く2020年1月実績＝全体703,500人（同3.1%減）、外国客169,200人（同16.4%減）、国内客は変わらない。



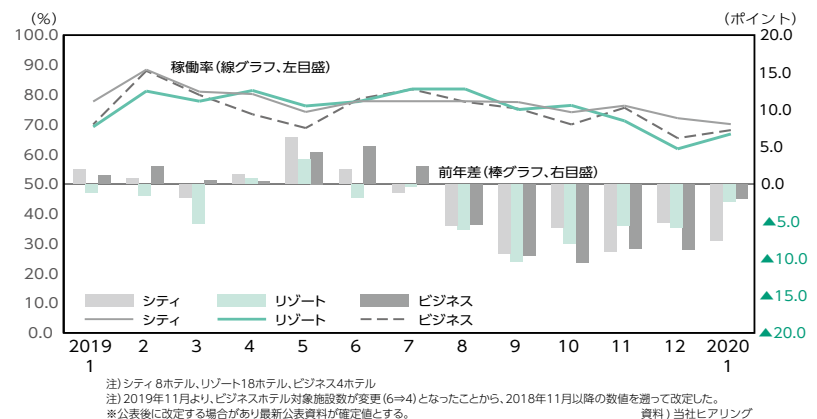
② 観光施設入場者数…6ヵ月連続で前年同月を下回る。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より10.4%減少（6ヵ月連続）しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同17.0%減と6ヵ月連続、中部は同6.7%減と2ヵ月連続、北部は同5.3%減と6ヵ月連続で前年同月を下回りました。



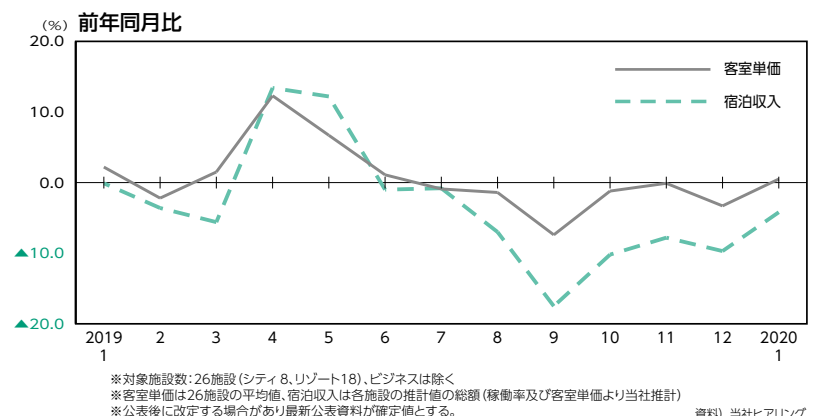
③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが70.1%と7.6ポイント減少(7ヵ月連続)、リゾートホテルが66.8%と2.4ポイント減少(8ヵ月連続)、ビジネスホテルが68.1%と1.9ポイント減少(6ヵ月連続)しました。



④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入は下回る。

ホテル客室単価（シティ&リゾート）は前年同月比0.5%増と前年同月を上回りました。**宿泊収入**は同4.2%減と前年同月を下回りました。





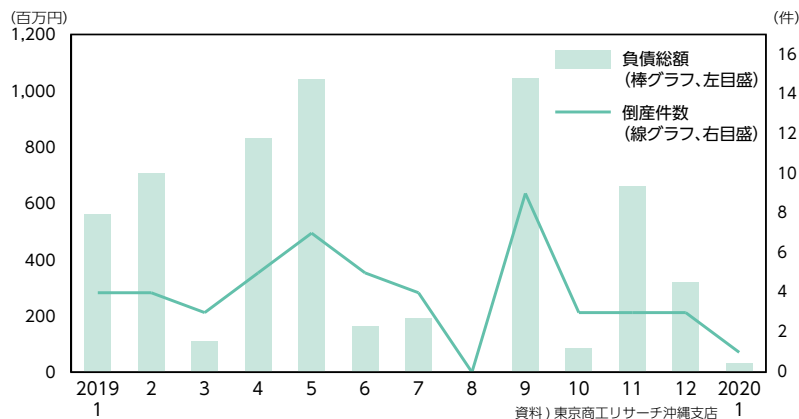
企業倒産



(やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

1月の企業倒産件数は、1件（うち大口倒産はなし）となり、前年同月より75.0%下回りました。負債総額は3,000万円となり、前年同月より94.6%下回りました。



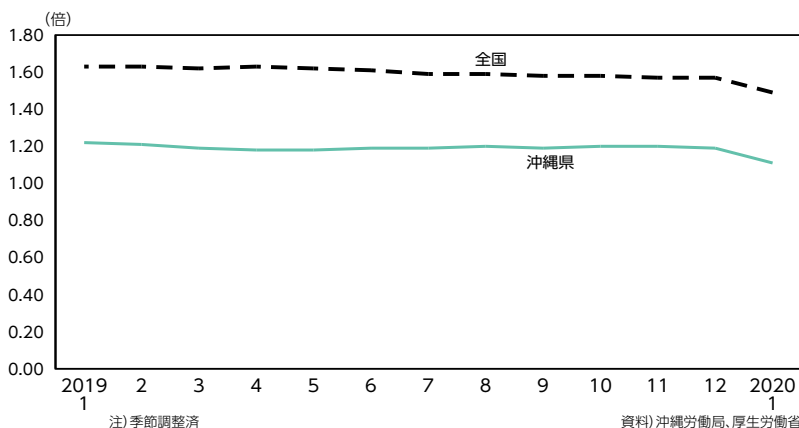
雇用関連



(良い)

有効求人倍率…沖縄、全国はともに前月より低下。

1月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）は前月比6.6%減の28,770人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比0.1%減の25,862人となり、有効求人倍率（季節調整値）は1.11倍となり前月より0.08ポイント低下しました。



完全失業率…沖縄、全国はともに前月より上昇。

1月の完全失業率（季節調整値）は、3.4%となり前月より0.5ポイント上昇しました。

